

■概要

[illegible]

デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。	子どもや高齢者、スマートフォンやタブレット端末の初心者にも操作がわかりやすいような画面設計がされていること。
		利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫がされていること。	—
	アクセシビリティ	「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン2.0」を活用してアクセシビリティを確保することを前提に、本ガイドライン別紙3のチェックリストを提出し、その対応状況を示すこと。	「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン2.0」別紙3チェックリスト https://www.ndl.go.jp/support/guideline#anchorano03 を参照し、提出すること。
	多言語対応	指定する言語に対応すること。	次の言語に対応すること。なお、別途費用が発生する場合はその費用を備考欄に記入すること。 ・英語 ・中国語(簡体字/繁体字) ・韓国語 ・スペイン語
データ移行	—	現行システム（サービス）で保有するデータを、新システム（サービス）の初期データとして移行（登録）できること。	既存の図書館システムから一括抽出した利用者番号および生年月日データをもとに電子書籍サービスのID、初期パスワードとして移行(登録)できること。
サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	—
	保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかにシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。	—
利用規約等	利用規約への同意	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）を取ることができること。	「利用規約」に関するページを作成し、トップページ等に固定されたリンク先で利用者に内容を確認させる運用でも差支えない。
	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること。	—
サービス利用者向け機能	利用者登録	利用者アカウント登録・設定	利用者毎にID・パスワードを発行できること。 (IDは電子書籍サービス専用番号のほか、既存の図書館システムで使用する利用者番号、学校利用を想定した学校専用番号など、導入時に選択又は利用ができること。)

○	
○	
○	
	○
	○
○	
○	
○	
○	

	アカウント認証方法	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。	—
		マイナンバーカードの公的個人認証サービスを用いたログインにも対応すること。	—
	アカウント情報の修正	利用者自身がアカウント情報の修正を行えること。	利用者自身でパスワードが変更できること。
	アカウント情報の削除	利用者自身がアカウント情報の削除申請を行えること。	トップページ等に問い合わせフォームへのリンク先を用意し、図書館の連絡先を表示する等、図書館側へ削除申請の問い合わせができる手段があること(必須)
サイト	サイト構成	自治体専用の電子図書館トップページを作成できること。	—
トップページ機能	お知らせ表示等	利用者へのお知らせ情報を確認できること。	—
マイページ	利用者自身のポータルページ	マイページ機能があり、情報確認などできること。	マイページ機能では、次のものが利用可能なこと。 ○貸出中コンテンツ一覧確認 ○予約中コンテンツ一覧確認 ○貸出期限の延長 ○予約の取り消し ○お気に入りコンテンツ一覧確認
書籍検索	検索方法	簡易検索と詳細検索が可能なこと。 詳細検索では、絞り込み検索ができること。	絞り込み項目は、最低限、次に対応可能なこと。 コンテンツ名・著者名・ジャンル
貸出	コンテンツ内容確認	コンテンツ詳細画面からコンテンツの書誌情報が確認できること。	次の情報が確認できること。 ・タイトル ・著者 ・出版社 ・発行日
	試し読み	コンテンツの試し読みができること。	出版者の許諾、コンテンツ作成状態により対応していないコンテンツがあることは差し支えない。
	コンテンツ貸出	コンテンツ一覧画面又は詳細画面から、容易にコンテンツの貸出・閲覧ができること。	—
返却	返却	貸出期間が過ぎたコンテンツは、自動的に返却処理が行われること。	—
予約	予約	コンテンツが貸出中の場合は、予約ができること。	予約の用意が出来たコンテンツは、一定期間「取り置き」の状態が確保できること。
		予約したコンテンツが貸出可能となった際、メール等で通知されること。	—
ビューワ	ビューワ機能	貸出手続きが完了したらワンクリック等の簡単な操作で借りた電子書籍を閲覧画面を展開できること。	—

	○
	○
○	
○	
○	
○	
○	
○	
○	
○	
○	
	○
○	

			借りた電子書籍を簡単な操作で閲覧できること。	—
			目次から該当章へジャンプできること。また、しおりを複数設定でき、設定したしおりにジャンプできること。	—
			コンテンツ中の任意の場所に移動することが出来ること。	—
			コンテンツを閉じて、再度読む場合は、前回閉じたページが開かれること。	—
			ハイライト（マーカー）とメモをセットでき、設定したハイライトに移動することができること。	—
			しおりとハイライト（マーカー）は電子書籍を返却するまで状態を保持できること。また、電子書籍が返却された後、次の利用者が利用する際は状態がクリアされること。	—
			文字の大きさが変更（フィックス型コンテンツは誌面全体の拡大表示）できること。	出版者の許諾、コンテンツ作成状態により対応していないコンテンツがあることは差し支えない。
			色反転表示が可能であること。	出版者の許諾、コンテンツ作成状態により対応していないコンテンツがあることは差し支えない。
		読み上げ機能	音声読み上げ機能があること。	電子書籍のタイプや出版社の許諾等により対応できない電子書籍があることは差し支えない。
			読み上げスピードを変更できること。	—
	利用者機能	操作説明	利用者に操作方法を示すことができること。	—
		問い合わせ	問い合わせを行うことができること。	電子図書館サイトに連絡先を記載する運用も可。
管理者向け機能	管理者登録	アカウント登録・設定	管理者アカウントの登録・変更・停止・削除ができること。	管理者アカウントIDは半角英数字及び半角記号を用いた任意の文字列で発行できること。
		アカウント認証方法	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。	ID・パスワードでログインできること。
		ロール設定	管理アカウントごとのロール設定ができること。	—
	利用者アカウント管理	アカウント情報の確認・停止（削除）	管理者が利用者アカウント情報の確認・停止（削除）ができること。	—

○	
○	
○	
○	
	○
○	
○	
○	
○	
	○
○	
○	
	○
○	

[illegible][illegible]